



パック連通信

事務局：山梨県大月市御太刀 1-2-10

No.115 2020年12月25日発行
全国牛乳パックの
再利用を考える連絡会

TEL. 0554-22-3611

DVD「牛乳パックリサイクルしないともったいない」完成

今年はコロナ禍により、予定していた活動が相次いで中止となる中、唯一進められることができたのが啓発動画の制作でした。

既存のDVD「パックン探検隊」は小学生向けであるため、一般の方向けの牛乳パックリサイクル啓発用動画が必要であると、2年程前から企画を温めておりました。

動画に登場していただいたのは、芸人をしながらゴミ清掃の仕事に携わっているマシンガンズの滝沢秀一さんとその相方、西堀亮さんです。

内容はマシンガンズと学ぼう！ということで、牛乳パックリサイクルの意義や資源の分別の大切さ、牛乳パックの回収ルールなどを二部構成でご紹介しています。

お二人の軽妙なやりとりを通して、多くの方に牛乳パックリサイクルへの関心を高めていただけたらと願っております。



マシンガンズの滝沢さんが、2018年に『このゴミは収集できません』（白夜書房）を発刊したり、2019年にコミック単行本『ゴミ清掃員の日常』（講談社）を発刊したりするなど全く存じ上げておりませんでした。2年ほど前、たまたまポップポップグループのMCとして活躍されている方の動画番組に、ごみ清掃員芸人として滝沢さんがゲスト出演し、プリングルスの分別方法について紹介されたのを拝見しました。

プリングルスの容器は底がスチール、胴の部分は板紙で燃えるゴミには出せませんが、滝沢さんがいとも簡単に板紙部分を螺旋状に伸ばし、底を外して分別して見せると、MCの方は驚愕されていました。

牛乳パックも昨今キャップタイプが増え、消費者がどのように開いたらよいか困惑している様子が伺い知れ、（古紙業者さんに持ち込まれた牛乳パックの中に、きっと悩みながら切り開いたであろうと思われるパックが何枚も…）滝沢さんのような方にいろいろな場面で紹介してもらったら、一般の方に関心をもってもらえるのではないかとひらめき👉今回プロデュースした次第です。

一緒に制作にかかわっていただいたのは、これまでも啓発冊子を手がけてもらっている(株)リナリマさん。仕事が早いので安心していました。



シナリオに目を通すマシンガンズ

しかし、この動画製作は容環協との連携事業の一環であったため、企画を通すのに時間を要し、（容環協から非常に不快で屈辱的な思いをさせられたということ、あえてここで明確にしておきます。詳細については次回ご報告いたします。）すったもんだの挙句やっとなマシンガンズとの撮影にこぎつけ、8月下旬に世田谷区砧にあるスタジオで撮影は行われました。

事前にライターさんによるシナリオはありましたが、パック連で校正し容環協に確認を得て、さらに当日手を加え、撮影進

行中も書き直しを行うなど、情報が誤って伝わらないよう丁寧に進めていきました。

マシンガンズのお二人も、芸歴 20 年以上のキャリアをお持ちなので、カンペを見ながらではありますが（滝沢さん、甘噛みのセリフがやや目立ち気味でしたが）やり取りの間もよく、順調に撮影は進み、撮影立ち会いにご協力くださった容環協参画企業のご担当の方々も、撮影の進行具合に満足されていました。

マシンガンズの滝沢さんの昨今の活躍は目覚ましく、コロナ禍でのごみ収集の現状について、東京都知事とリモート対談をしたり、イラストレーターの 326 さんとタッグを組み、共著絵本『ゴミはボクらのたからもの』（幻冬舎）を刊行したり、そうした活動が評価されて、10 月には環境大臣より「サステナビリティ広報大使」に任命されました。

相方の西堀さんも、かもしだす雰囲気やアドリブでの返しが面白く、お二人のやり取りがあつてこそ、見ている側に興味を沸かせるのではないかと思います。今後は環境をテーマにした漫才などにぜひチャレンジしていただきたいです。

この動画企画の提案に、容環協からは「条件付き承認」という 2002 年に連携関係を築いて以来の、失礼極まりない対応を取られました。編集途中においても、いっそ連携事業とせずにパック連独自で発行しようと思ったことさえありました。

しかしながら牛乳パックリサイクルが SDGs のゴール 12「つくる責任、つかう責任」の中の目標に沿った実践活動であることや、スマホでも動画を見ることができるといふ時流に乗った企画であったと、制作者としては自負しています。

事実、東京都内の一部地域の小中学校で、来年度からの学乳パックリサイクルの導入に伴い、複数の小中学校より啓発用 DVD の申し込みが来ています。中学校へはさっそく「牛乳パックリサイクルしないともったいない」をご紹介します。また、各地での学校において SDGs の学習を始めているので、この DVD が役立つ場面がますます出てくると思っております。

ご協力いただいたマシンガンズさん、(株)リナリマさんに改めて感謝したいと思います。

なお、DVD ご希望の方は下記へお申し込みください。

全国牛乳容器環境協議会

TEL 03-3264-3903 FAX 03-3261-9176



スタジオ外観



セリフ運びを念入りにチェック



6年ぶりにありがとうキャンペーンを実施しました

2002年より牛乳パック回収ボックスを配布し始めてから、その数25,000箱以上となりました。

常日頃、牛乳パックを洗って開いて乾かして、さらに回収ボックスを置いて拠点となって集めて下さっている多くの方々に感謝の意を伝える目的で、10月にありがとうキャンペーンを実施しました。

特に今年はコロナ禍でトイレトペーパーの買い占めが起こる混乱もありましたので、応募者にトイレトペーパーを送る企画は喜ばれるのではと考えました。

10月30日の締め切りに165件の応募があり、11月中旬に応募者全員へトイレトペーパーを発送したところ、ご丁寧に御礼のFAXを送ってくださった所もありました。

また、応募用紙には様々なコメントが記載されていて、感動をもって拝読させていただきました。

回収の現場にかかわってくださっている方々の協力をなくしては成り立たない牛乳パックリサイクルであることを関係事業者は自覚していただきたく思います。ここに一部ご紹介します

紙パック回収ありがとうキャンペーンに寄せられた声の数々

➤ 清水町の幼稚園

牛乳パックを回収して収益を社会福祉貢献に活用しています。

子ども達の学びにもつなげ、限りある資源を大切にしていきたいと思っています。

➤ つくば市の小学校

環境福祉委員会が中心となって回収活動を行っています。小規模校ですが、多くの家庭からの協力を得て、多くの牛乳パックを集めることができます。今後も学校の教育活動を通して牛乳パックの回収を続けていきたいと考えています。

➤ 水俣市の保育園

毎月環境の日に園児たちと集めた牛乳パックの重さを計ったり、はさみで切り開いている。

園児も楽しみながらの活動として、数十年続いている。家庭の協力もあり嬉しく思う。

➤ 川辺町の小学校

学校玄関前で常時回収しています。児童のリサイクル意識が高まり、進んで活動する姿が増え、牛乳パックの回収が定着しつつあることが、将来にもつながっていき、嬉しく思っています。

➤ 三島市の福祉事業所

地域の皆様にもご理解ご協力いただき、回収量が増えています。

新型コロナウイルス流行により、協力して下さる地域の方がとても増えています。大変ありがたいです。

➤ 入間市の中学校

回収ボックス配布事業は大変有意義な事業ですので、エコパック運動と合わせて、全国に推進・展開されることを願い、協力させていただきます。

➤ 北名古屋市の保育園

地球環境のため、大変よいことであり、牛乳パックという子ども達の身近なもので、環境について考えることができ、回収ボックスはたいへんありがたいです。トイレトペーパーのありがたさもコロナの関係でかんげる機会となりました。

➤ 神戸市のマンション管理員

資源回収活動の一環として、共用部に回収ボックスを設置しています。

限りある資源を再利用することは、重要な事項です。回収ボックスがあることにより、リサイクル活動を活性化し、持続できる活動になっています。

➤ 羽曳野市のボランティア団体

30年間回収ボランティアで活動しています。回収率は上がっていますが、もっと回収量が増すことを願ってがんばっています。

➤ 北九州市の中学校

ユネスコスクールとして活動している一環で、牛乳パックの回収を行っています。紙パックを回収し、それがトイレトペーパーに変わることが目に見えてわかるので、生徒がリサイクル活動に参加している実感を持たせることができ、助かっています。

➤ 徳島市

内側のアルミ付き紙パック、プラスチックキャップ付きパック、及びプラスチックの配合率が高い1ℓ未満の紙パック問題について、検討いただき、早期に解決してほしい。

➤ 春日市の自治会

回収された後、どのようになっているかわからない部分もあったので、このようなキャンペーンがあると皆さんに伝えやすいです。自分のできる範囲で役に立てるのはありがたいです。

今年初めての出前授業を行いました

今年度当初に3校からの出前授業申し込みがありましたが、コロナの影響で中止となり出前授業の実施を半ばあきらめていたところ、横浜市の上星川小学校から、12月7日に6年生1クラスで出前授業をしていただけないかとのご相談を受けました。(児童から丁寧な依頼文も送られてきました。)

ちょうどマシンガンズと学ぼうの動画も完成していたので、いつもの2時限のプログラムから手すきはがきづくりを外し、①リサイクルのお話②DVD視聴③牛乳パック手開き体験④質疑応答という内容で1時限に縮小しました。訪問スタッフも4名に絞り、会場も体育館を使用して社会的距離を保つなど、感染防止に努めながら授業を実施いたしました。

6年2組の生徒さんたちはSDGsの学習の延長から、紙パックリサイクルに関心を持たれ、いろいろな疑問が出る中さらに紙パックについて掘り下げて調べたいとのことで、当日も積極的に質問してきました。

牛乳パックリサイクル出前授業は体験を通して学んでいただくことをモットーとしています。コロナ禍でリモート授業が広がっていますが、コロナ終息後もリモートで授業を展開するつもりは全くありません。

これまでの実績から、遠路であっても実際に学校へ訪問し、牛乳パックリサイクルにどんな人が、どんな会社がかかわっているのか、なぜリサイクルされるようになったのか、リサイクルのメリットは？課題は？など生徒と対面し話をすることで、聞き手の関心度が高まっていったのは確かです。さらに、世界でたった1枚のオリジナルはがきづくりが、子どもたちの心をわしづかみにして、牛乳パックリサイクルへの印象を深めています。

しばらくは、縮小した形での出前授業となりますが、意義深い活動として継続していきたいと考えています。



全国牛乳パックの再利用を考える連絡会様
木々たちは、横浜市上星川小学校の6年生です。
環境問題について調べたことをきっかけに、私たちが
にとって身近なものである牛乳パックについて
興味をもちました。そして、何のために紙パックはリサイ
クルされているのか、木々たちが「いつまでか」いっ
る牛乳パックは一体どこでどのようにリサイクルさ
れているのか、いつから小学校では牛乳パックを
集めるようになったかなど様々な疑問が出てき
ました。総合の時間にインターネットや本を使って調べ
ていきましたが、もっと紙パックについて詳しく知り
たいので、ぜひ出前授業をお願いします。
よろしくお願いいたします。

日時:12月7日(曜日)
時間:13時35分~14時20分
場所:横浜市上星川小学校 体育館

六年二組 一同より

◎牛乳パックリサイクル・牛乳パック再利用マークについてのお問い合わせは
全国牛乳パックの再利用を考える連絡会 / 牛乳パック再利用マーク普及促進協議会
TEL.0554-22-3611 FAX.0554-56-9216 E-mail info@packren.org
ホームページ <http://www.packren.org> 〒401-0012 山梨県大月市御太刀 1-2-10